

教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

音楽科においては、創意工夫して音楽表現をする能力や味わって聴く能力を育成する観点から、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、例えば、表現領域では、どのように音楽表現をしたいのかという思いや意図を言葉で表したり、鑑賞領域では、音楽を聴いて価値などを考え、批評したりする学習活動を充実する。

自分の思いや意図を伝え合いながら、創意工夫して音楽を表現する事例

1 学年 第3学年

2 題材名 歌詞や言葉の特徴を感じ取り、思いを表現してみよう

3 題材の目標

- 歌曲の旋律、強弱、音色を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら、歌詞に込められた思いや言葉を理解して音楽表現を工夫する。
- 言葉や音階などの特徴を感じ取り、反復、変化などの構成などの特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて旋律をつくる。

4 言語活動の充実の視点

視点1：言葉と音楽の関係において、言葉のまとまり、リズム、抑揚、高低アクセント、発音などから生まれる日本語の持つ美しさや歌詞の内容を味わい、音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。(音楽表現の創意工夫)

視点2：反復、変化などの構成や全体のまとまりをどのように工夫して旋律をつくったのか、その特徴をどのように感じ取ったのかを述べ合い、生徒一人一人の考え、意図や価値意識を広げる。

5 主な学習活動(全6時間)

段階	学習活動
第一次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・「花の街」を聴いて曲の雰囲気や感じ取った特徴を述べ合う。 ・「作詞者の言葉」を読み、歌詞に込められた思いを理解し、知覚・感受した強弱や声の音色、旋律の音高などをどのように歌うかについて意見交換しながら表現を追求する。 ・日本語の抑揚や発音、発声など歌い方をいろいろと試しながら、曲にふさわしい音楽表現となるように、思いや意図を持って「花の街」を歌う。
第二次 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された歌詞を読んで、自分が感じる抑揚や高低アクセント、リズムなどを簡単にワークシートに書き表してみる。 ・書き表した記録を基に、工夫して旋律をつくる。 ・自分の楽曲の工夫点(反復や変化させた箇所、させた理由、仕方など)をワークシートに記入する。 ・グループを組み、工夫点を伝え合い、それを基に聴いた感想(工夫点がどのように聴こえたか)を述べ合う。 ・仲間からの感想を基に、自分の楽曲の見直しを行い、旋律を完成させる。

視点1

視点2

音楽表現や鑑賞の学習の充実を図るために

- 学習過程において、音楽に対するイメージ、思い、意図を相互に伝え合う活動を位置付けて、仲間とともに創意工夫して音楽を表現する喜びを味わうようにしたり、様々な感じ取り方があることに気付いて一人一人の音楽に対する意識を広げたりする指導を工夫しましょう。
- 鑑賞領域における学習の終末段階で批評文にまとめたりする言語活動を取り入れるだけではなく、表現領域、鑑賞領域ともに、学習の過程で適切に取り入れましょう。

歌唱表現において

- 言葉と音楽との関係を重視する観点から、歌詞の内容や言葉の特徴を生かして歌ったり、日本語の持つ美しさを味わったりする学習活動の充実を図りましょう。

評価の観点

- 「音楽表現の創意工夫」と「鑑賞の能力」は、音楽科における思考・判断・表現に係る観点として位置付けます。
- 「音楽表現の創意工夫」では、音楽的な感受に基づきながら音楽表現を工夫し、どのように音楽で表すかについて思いや意図を持っている状況进行评估しましょう。
- 「鑑賞の能力」では、音楽的な感受に基づきながら解釈したり価値を考えたり、それを言葉で表すなどして、音楽の良さや美しさを味わって聴いている状況进行评估しましょう。